

教育費の準備方法



◆教育費の準備方法

- ①預金・財形
- ②奨学金
- ③保険（学資保険など）
- ④保険（外貨建て・変額保険）
- ⑤NISA



◆教育費の準備方法：その①児童手当

児童手当は全額貯めると約230万円。

(第三子は上の子との歳の差により変動)

教育費はすべてをNISAで備えるのはリスクが大きいため、一部**預金**で貯めておくといい。

それが**児童手当**でぴったり！



◆教育費の準備方法：その①児童手当

児童手当の概算

| 児童の年齢 | 第1・2子 | 第3子 |
|--------|---------|---------------------------|
| 3歳未満 | 15,000円 | 30,000円 |
| 3歳～高校生 | 10,000円 | |
| 受取総額 | 約230万円 | 約650万円 (上の子との年齢差により変動) |



◆教育費の準備方法：その① 児童手当

児童手当の仕組み

- 偶数月に支給されます（2ヵ月おき）
- 支給は高校3年生の3月までですが、
「子どもカウント」は「22歳（大学4年生）の3月」

例）3人兄弟

第一子：大学3年生 ⇒ 0円

第二子：高校2年生 ⇒ 10,000円

第三子：小学6年生 ⇒ 30,000円



◆教育費の準備方法：その②奨学金

1,000万円、準備してあげたいです！
でも...わが家こどもが2人ってことは2,000万円！？
それはちょっと・・・

そういう場合は「奨学金」を活用しよう！
奨学金はこどもの借金です。返済はこども。



◆教育費の準備方法：その②奨学金

例えば、わたしは
入学・在学費用＋1年目の一人暮らし費用は
両親から出してもらいました。

2～4年目の一人暮らしの費用は奨学金を利用。
8万円×3年間×12ヵ月＝288万円

この返済は毎月16,000円でした。



◆教育費の準備方法：その②奨学金

独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO Japan Student Services Organization

シミュレーション・メニュー

奨学金は
いくら必要な?

奨学金貸与・返還 シミュレーション

いくら借りたらいくら返すのか
シミュレーションができます。

返還のことを
考えてみよう!

日本学生支援機構の貸与奨学金は、
在学中に借りた奨学金を卒業後に毎月返還していく制度です。
「いくら奨学金を借りればいいのか?」
「毎月いくら返還していくことになるのか?」
考えながらシミュレーションしてみましょう。

開始

※第一種奨学金（無利息）は、収入に応じた月額で返還していく
「所得連動返還方式」を選択することができます。
▶ [「所得連動返還方式」の概要はこちら](#)

独立行政法人日本学生支援機構 Copyright © JASSO. All rights reserved.



◆教育費の準備方法：その②奨学金

奨学金貸与・返還シミュレーション 貸与情報入力

※ [操作マニュアルはこちら](#)

どの学校でいくら奨学金を借りたいですか？

奨学金の額は学校の種類や奨学金の種類で異なります

| | |
|-----------|---|
| 学校の種類 | <input checked="" type="checkbox"/> 大学（学部） <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 専修学校（専門課程） <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 一貫制大学院 |
| 奨学金の種類 | <input type="checkbox"/> 第一種奨学金（無利息・貸与型） <input checked="" type="checkbox"/> 第二種奨学金（利息付・貸与型） <input type="checkbox"/> 併用貸与（第一種および第二種の両方の貸与を受ける） <small>※第一種奨学金にあわせて貸与を受ける入学時特別増額貸与奨学金（利息付）^[?]の貸与を受けたい場合は、「第一種奨学金」を選択のうえ、表示されるチェックボックスにチェックを入れてください。</small> |
| 貸与総額の計算方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 貸与期間と月額を入力する <input type="checkbox"/> 貸与総額を直接入力する |

| | |
|--------------|--------|
| 入学年度 | 2025 ▼ |
| 入学時特別増額貸与奨学金 | なし ▼ 円 |

貸与明細

| | | |
|---|----------------|--------------------|
| 2025 ▼ 年 4 ▼ 月 ~ 2029 ▼ 年 3 ▼ 月 | 月額 100,000 ▼ 円 | 追加 |
| ※ 貸与月額についての説明はこちら （第一種奨学金、第二種奨学金共通） | | |

| | |
|------|--|
| 貸与利率 | 0 . 600 % ^[?] ※0.001~3.000の範囲で入力してください。 |
|------|--|

※ [貸与利率](#) について

◆ 第二種奨学金に対する利息計算に用います。[実際の貸与利率はこちら](#)を参照してください。

機関保証制度を利用しますか？

奨学金の貸与を受けるには、保証（機関保証または人的保証）を受ける必要があります

| | |
|--------|--|
| 機関保証制度 | <input type="checkbox"/> 利用する <input checked="" type="checkbox"/> 利用しない |
|--------|--|

※ [機関保証制度](#) とは

- ◆ 一定の保証料を支払うことにより、保証機関の保証が受けられる制度です。
- ◆ 保証料の支払いは原則として毎月の奨学金から差し引く方法をとります。
- ◆ 保証機関の保証を受けても、奨学金はあなた自身が返還しなければなりません。延滞した場合は、保証機関があなたに代わって奨学金の返済を行います。その後、保証機関からの請求により原則一括で返済することとなります。
- ◆ 機関保証制度を利用しない場合は、連帯保証人及び保証人を立てる（[人的保証制度](#)）必要があります。

**機関保証は利用しない！
保証料がかかります。**



◆教育費の準備方法：その②奨学金

例えば...

毎月10万円×4年間×12ヵ月=480万円
借りた場合

毎月の返済額は21,286円です。

22歳の大学卒業から42歳まで20年間。

📄 返還シミュレーション結果<貸与情報ごと>はこちらです

一 貸与情報1：大学（学部）【第二種奨学金】

入力された貸与情報の内容

| | |
|--------------|---------|
| 入学年度 | 2025年 |
| 入学時特別増額貸与奨学金 | なし |
| 貸与利率 | 0.600 % |
| 機関保証制度 | 利用しない |

■ 第二種奨学金

| 貸与明細 | | | |
|--------|--------|----|-------------|
| 始期 | 終期 | 月数 | 貸与月額 |
| 2025/4 | 2029/3 | 48 | 100,000 |
| 貸与総額 | | | 4,800,000 円 |

返還例：第二種奨学金

| 貸与総額 | 貸与利率 | 返還期間（年） | |
|---------------------|--------------------|---------------------------|-------------|
| 4,800,000 円 | 0.600 % | 2029年10月～ 2049年9月（20年） | |
| 返還方法 ^[?] | 返還額 | 返還回数 | 返還総額 |
| 月賦返還 | (通常) 21,286 円 / 月 | 240 回 | 5,108,973 円 |
| | (最終) 21,619 円 / 月 | | |
| 月賦半年賦 併用返還 | (通常) 10,643 円 / 月 | 240 回 | 5,109,533 円 |
| | (最終) 10,737 円 / 月 | | |
| | (通常) 63,877 円 / 半年 | 40 回 | |
| | (最終) 63,916 円 / 半年 | | |

◆教育費の準備方法：その②奨学金

奨学金の返済額を考える

大卒の平均初任給は22万8,500円（2022年調査）
手取りは18万円程度（80%程度）

この18万円の中から

家賃、水道光熱費、通信費、食費、日用品、美容室、医療費
お化粧品、衣服、趣味、旅行、車のローン、
将来に向けての積立・・・【+奨学金】



◆教育費の準備方法：その②奨学金

個人的に思う奨学金MAXの金額は500万円

毎月2万円であれば・・・

なんとか返済可能・・・か・・・な？

なので、親としては

最低でも子ども人数×500万円は準備してあげたい！



◆教育費の準備方法：その②奨学金

ただし、貯蓄は老後資金優先

あおば家の例

あおば実家はむすめ2人。（わたしは長女。やっぱり？）
両親は**全ての蓄財を私と妹の教育費に使いました。**

結果、親の老後資金、すっからかん。
長女の私は、親の老後資金1,000万円を結婚までに準備しました。
独身の頃の貯蓄は、すべて親のため。

このお金があったら、若いころの私は、
いろんな経験ができたんだろうな。



◆教育費の準備方法：その②奨学金

老後資金は借りることができない

教育費は奨学金が借りられます。

老後資金は銀行は年金生活者にお金を貸してくれません。

なので、NISAで貯めるお金は『老後資金が優先』！

全ての貯蓄をこどもに出してあげても、

結局、老後にこどものお世話になるなら意味ない。

(もちろん、大学進学させてくれた両親には大感謝！)



◆教育費の準備方法：その②奨学金

奨学金はお子さんの負債（借金）

お子さんが借りるときは

- ・借りてでも行きたい進学先なのか
- ・返済するという責任

これについて、しっかりお話し合いをしましょう。

お子さんへの大切な金融教育になると思います。



◆教育費の準備方法：その③保険（学資保険など金額が確定しているもの）

金額が確定しているもの（満期で●万円）であれば
そのまま継続してOKです。

学資保険のほかに、児童手当を預金で貯蓄している場合は
「ノーリスク資産」が多いので

児童手当はNISAに回すことをお勧めします。
（長期投資できる場合）



◆教育費の準備方法：その④保険（外貨建て保険・変額保険）

外貨建て保険・変額保険で学費を貯めている人は・・・
「コストが高すぎます！」

どうせ運用リスクを取るのなら
低コストのNISAで運用しましょう。

解約がおすすめ
(詳しくは保険編で説明します)

保険の章を見ても判断できない場合は、面談しましょう！



◆教育費の準備方法：その⑤NISA

NISAの原則は「長期投資」

NISAは（10年～）15年以上の長期投資が原則です。

お子さんの年齢が8歳以上の方は
預金や学資保険で貯めることを推奨します。



◆教育費の準備方法：その⑤NISA

お子さんが8歳以上でもNISAで準備できるケース

- ① 学資保険や預金で大学1～2年生までの支出が賄えます！
という場合は運用年数を伸ばせるので、OK
- ② 先に奨学金を借りて、運用年数を稼いでNISAで増やしてから
奨学金を返済する



◆教育費の準備方法：その⑤NISA

教育費のメインはやっぱりNISA！

NISAで毎月いくらずつ積立する必要があるのか
シミュレーションしていきましょう！

